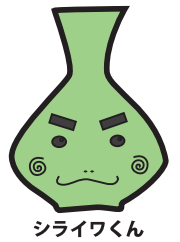


どきどき通信 No.8



Kikugawa City

平成 31 年 1 月 発行

こうしんづかこふん

庚申塚古墳の調査

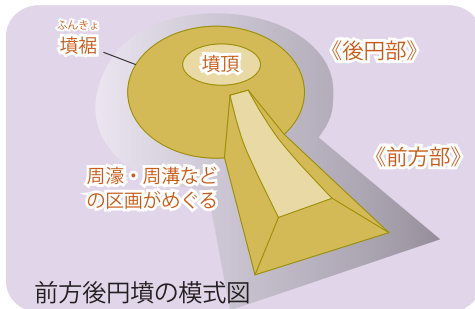
前方後円墳の確認調査

菊川市神尾の庚申塚古墳は、地形の形状から前方後円墳であるとし、平成 13 年には測量を行っています。しかし、地中に残された状態はわかっていませんでした。そこで、平成 30 年 3 月に初の発掘調査を行いました。

今回は、後円部の南側と北側、墳頂部に於いて、トレンチ（細長い発掘区）を設定して発掘しました。その結果、後円部の南北では、古墳のまわりを区画する周溝を確認することができました。また、墳頂部では、部分的にも盛り土が確認できたほか、古墳時代の土師器といわれる土器の破片が出土しました。

周溝と盛り土をもつ古墳であり、墳頂部で土器を使用したことも判明しました。葺石や埴輪はない古墳のようです。

前方部の状況など、まだ調査していないところもあります。大切な文化財を適切に保護できるように、今後も形状や構造の調査を行う必要があると考えています。



土器片の出土状況 小さな破片でも貴重な発見！

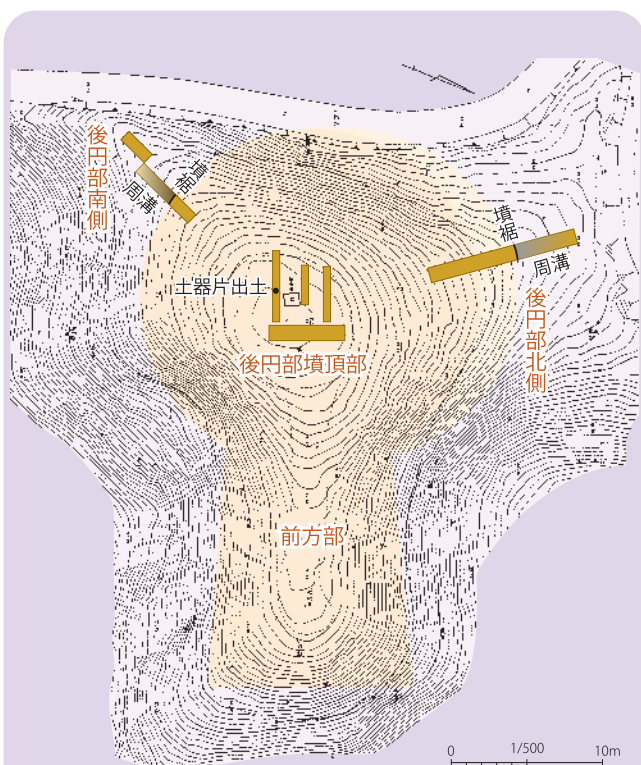


後円部北側のトレンチ (北西から撮影)

菊川市内の前方後円墳

前方後円墳は、古墳時代の大王の墓をはじめとした形の古墳です。市内には、古墳時代の 4 世紀から奈良時代の 8 世紀までに 60 基以上の古墳と約 390 基の横穴墓がつくられましたが、前方後円墳は 6 基だけです。さらに、破壊が少ない前方後円墳は庚申塚古墳だけです。

名称	大字	墳長	残存	備考
大徳寺古墳	半済	約 63m	前方部破壊	市指定文化財、粘土槨確認
庚申塚古墳	神尾	約 36m	大きな破壊なし	
上平川大塚古墳	上平川	約 24m	消滅	三角縁神獣鏡など出土
上平川大塚 2 号墳	上平川	約 30m	消滅	
朝日神社古墳	下平川	約 20m	前方部破壊	市指定文化財、土器出土
舟久保古墳	高橋	約 49m	前方部破壊	県指定文化財



庚申塚古墳の平面図 黄色は墳丘の推定範囲



大徳寺古墳 (菊川市半済)



舟久保古墳 (菊川市高橋)